

高齢者福祉施設長
各 様
介護サービス事業者

兵庫県健康福祉部少子高齢局高齢政策課長

新型コロナウイルス感染症に係る「緊急事態宣言」の延長について

平素は、本県の高齢者福祉行政の推進及び感染拡大防止対策にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、令和 3 年 8 月 20 日から 9 月 12 日までを期間として発令されておりました新型コロナウイルス感染症に係る「緊急事態宣言」が 9 月 30 日まで延長されることとなりました。

介護サービス事業所・施設の利用者や職員の皆様方にはワクチン接種が進んだこともあり、大規模なクラスターの発生件数は大幅に減少しているものの、ワクチン接種後であっても、感染する可能性（いわゆる「ブレイクスルー感染」）があり、人にうつしてしまう恐れがあることから、マスクを着用しないでの会話や、3密の場所への出入を控える等、これまで通りの感染対策が不可欠です。

つきましては、引き続き次項の「新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針（特に太字下線部分）」の記載内容にご留意いただくとともに、県が作成した「新型コロナウイルス感染症感染予防ポスター」や「チェックリスト」（下記の県 HP 参照）を積極的に活用しながら、基本的な感染防止対策（マスク、消毒、換気等の徹底、密な状態の回避等）、職員とその家族間での感染防止や利用者の体調管理の徹底、検査の積極的な活用など、感染防止対策を厳重に徹底した上での事業の実施をお願いいたします。

参照ホームページ

- 「ワクチン接種後のブレイクスルー感染」 なぜワクチンと感染予防対策の両方が必要なのか（厚生労働省）

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/ga/column/0006.html>

- 介護サービス事業所・施設向け新型コロナウイルス感染対策関連情報（兵庫県）

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf05/0uenhaken.html>

高齢政策課介護基盤整備班 電話（代表）：078-341-7711 内線 3107、2945、2974 e-mail：koreiseisaku@pref.hyogo.lg.jp

(参考) 新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針 (抄)

4 社会福祉施設

(1) 高齢者施設、障害者施設等

①職員

- 高齢者、障害者など特に支援が必要な方々の居住や支援に係るすべての関係施設・事業所について、**感染経路の遮断（手指消毒、マスク着用、換気の徹底）及び感染防止対策を嚴重に徹底した上での事業実施**を要請する。
- 各施設団体からも注意喚起を行うとともに、「5つの場面」等を解説した動画を作成の上配布し、職員等に対する研修に活用するとともに、**施設の職員等及び施設等と関わりのある従業員に対して不要不急の外出の自粛等の徹底**を要請する。
- 感染管理認定看護師等の派遣等による感染症対策研修を実施する。
- 職員の日々の健康管理（体温測定、発熱した場合の出勤停止）を徹底し、施設内での感染等が疑われる事案が発生した場合は、保健所に連絡する。

②利用者

- 面会者からの感染を防ぐため、自宅と施設間でのオンライン面会等を活用し、**直接面会については、緊急の場合を除き中止**することを要請する。実施する場合も、回数・人数の制限や感染防止対策を嚴重に徹底する。
- 原則、利用者の外泊・外出の自粛**を要請する。利用者及び家族のQOLを考慮して外泊や外出を実施する場合は、手指消毒やマスク着用等感染防止対策の徹底を要請する。

③施設等への支援

- 退院後の社会福祉施設への円滑な受入を促進するため、退院基準満了証明の交付や受入施設への支援金（1名受入あたり10万円）を支給する。
- 入所者が感染した場合、入院又は宿泊施設での療養を原則とするが、患者の状況や入院調整の状況等によっては、当該施設において療養することもあり得る。このため、やむを得ず施設内療養を行った施設等に対し、医師の配置等、適切な健康管理体制の確保に必要な経費を健康管理支援事業（施設内療養者1人あたり25万円）として支援する。また、感染拡大対策に必要なかかり増し経費をサービス継続支援事業（高齢者施設における施設内療養者1人あたり15万円等）として支援する。
- 訪問介護等既に利用中のサービスがある場合は、当該サービス提供事業所によるサービス継続等により支援する。新たにサービスが必要となる場合には、市町、介護支援専門員、相談支援専門員、訪問看護・介護事業者等関係者が連携し、必要なサービスを提供する。いずれの場合も、必要となるかかり増し経費に加え、協力金を支給する。
1日あたり協力金 訪問看護 52,000円 訪問介護 38,000円 等
- 概ね2ヶ月分のマスク、消毒液等の使用量確保を図ったうえで、さらに概ね2ヶ月分の使用量相当を県において保管する。
- 感染者が発生した場合の基本的対応方針を定め、施設内感染を防ぐための仕組みを整備する。また、感染者が発生し、職員が不足する施設向けに、協力施設等からの職員派遣等の仕組みを運用する。
- 感染拡大防止対策に資する衛生用品の確保や外部専門家等による研修等の支援を行う。特に、従来型施設（多床室）を中心に個別訪問による研修・助言を強化する。また、施設等への専門家派遣時の指導内容について、わかりやすく情報発信を行う。

緊急事態宣言延長！ 今度こそ収束を！

本県への緊急事態宣言が9月30日まで延長されました。新規感染者数は減少傾向にあるものの、1週間平均は第4波のピークを大きく上回る約700人、重症病床使用率も50%を超えるなど、依然、緊急事態にあります。変異株の脅威も続いています。今度こそ感染を収束させ、医療ひっ迫を防ぎ、大切な人を守るためにも、今一度責任ある行動の徹底をお願いします。

1 人流抑制対策の徹底

- ・生活・企業活動を維持する場合を除いて、原則、県域を越えた往来はやめてください。
- ・買い物の回数を減らすなど、混雑した場所等への外出を半減してください。
- ・時短要請時間外の営業、酒類・カラオケ設備を提供する飲食店等や感染対策（アクリル板の設置など）が徹底されていない飲食店等の利用はやめてください。
- ・友人等との会食や宅飲み、路上・公園での飲酒は絶対にしないでください。

2 クラスター対策の徹底

- ・職場や学校園でのクラスター、家庭での感染が多く発生しています。マスクの着用（不織布マスクを奨励）、手洗いや手指消毒、換気など基本的な感染対策を徹底し、発熱等の症状が見られる場合は出勤・通学園の自粛を徹底してください。
- ・「居場所の切り替わり」（食堂、休憩室、更衣室、喫煙室、サークル室等）では十分注意し、必ずマスクを着用するなど感染対策を徹底してください。
- ・多数の方が利用する集客施設は、人数制限・誘導等の入場者の整理を必ず行ってください。
- ・飲食店では会話時のマスク着用を徹底してください。

3 ワクチンの積極的な接種

- ・コロナの感染者の多くは若い世代です。ワクチン接種は感染を予防します。副反応や接種後の死亡例等の誤った情報には惑わされず、正確な情報のもと、積極的な接種への参加をお願いします。